



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 101 号 ■
(8・9月合併号)

原水禁世界大会 in 広島

本部 佐々木 良太

8月4日〜6日まで『原水爆禁止2015年世界大会―広島』に参加しました。初日の会場は広島県立総合体育館・グリーンアリーナでした。会場はとても広かったのですが、席が全て埋まるほどの多くの来場者がいました。中には外国の方々も多くみられました。

私はここに来るまで、なぜ世界大会なのだろうと思っていました。しかし、この会場には、インドネシア、メキシコ、キューバ、アメリカ、ドイツ、カナダ、

エジプト、中国、ロシア、ベトナムなど、22か国、141名もの政府、国際機関の代表者の方々がきていました。国や人種は違えども、こんなにも多くの国々で、戦争、核兵器根絶と平和を訴え、活動を広げていることを初めて知りました。そして日本は、唯一原爆を落とされた被爆国だからこそ、核兵器根絶の象徴として世界からも注目されていることを感じました。その日本が原発や、戦争する国に絶対になつてはいけません。



ファルマの皆さんの思いを込めた折鶴を捧げました



青森県民医連の参加者の皆さんと



講師をしてくださった品川先生



前年度参加者の中西さん(右)から佐々木さんへ鶴の贈呈

2015年度 原水禁壮行会及び学習会

弘前調剤センター 薬事課 中西 将太

7月29日(水)ファルマ会議室で、2015年度原水禁世界大会社内壮行会及び学習会が行われました。

今回は、弘前大学名誉教授の品川信良先生を講師に迎え、ご自身の戦争体験や現在の日本の情勢について貴重なお話を聞かせていただきました。中でも印象に残ったのは、銃撃にさらされた際の経験です。銃弾が体をかすめるようにとんできたとおっしゃっていました。まるで生きた心地がしない、青春時代を戦争に奪われてしまったという言葉は、平和が当たり前前の現代を生きる日本人にこそ、重く受け止めてほしい言葉だと強く感じました。

その後、原水禁歴代参加者から激励の言葉と共に折鶴が手渡されました。皆さんの思いを受け取った今年度参加者の佐々木さんから「日本は戦争に向かっている。それに反対していくためにも広島で学んできます。」という決意が語られました。自分自身の目で見て、感じてきてほしいと思います。

れました。目を閉じて聞けるのは、鐘の音と蟬の鳴く声だけでした。

午前8時15分。70年前この場所での時間、原爆が落とされたんだ。そして今、その場所に私は居る。目を

つぶった向こうには、これまで学んだことが鮮明に浮かび、あたかも原爆が落とされた瞬間にいるような感覚になりました。この感覚は今も深く心に残っています。私の一番心に残る1分間でした。

県連平和活動交流集会

弘前調剤センター 薬事課 鈴木 菜夏

た。ファルマでも様々な活動を行ってありますが、それがもつと多くの人に伝わればいいなと思いました。

7・18戦争法案NO！弘前大集会

弘前調剤センター 薬事課 成田なつみ

7月22日(金) 青森市浪岡・花岡農村環境改善センターで行われた平和活動交流集会に参加しました。

まず、青森県原爆被害者の会の田中正司氏が広島の被爆体験のお話をして下さいました。広島に行くことになった経緯から原爆が投下された当時のこと、青森に戻るまでのお話を詳しく聞くことができました。次に、青森空襲を体験した国賠同盟の齊藤なみ氏のお話がありました。

田中氏の広島のことはい出したくないが伝えていかなければならないという言葉や、齊藤氏の生きていくうちにできるだけ多くの人に話を聞いてもらいたい、命がある限り伝えていきたいという言葉が非常に印象的でした。

その後ニューヨークのNPT再検討会議に参加した平井氏からの報告がありました。現在、80%以上の国が核廃絶の声をあげているそうで、民医連の日頃の報告がありました。

和活動は世界に届き核廃絶へつながっていることを実感したと話されていました。その他に平和活動の取り組みの報告があり、ファルマからは阿保薬剤師から日頃の平和活動について報告がありました。



各法人事業所から鶴の贈呈 (写真右から中西さん、佐々木さん)

第8回 大間原発反対現地集会に参加して思ったこと

弘前調剤センター 薬剤師 澁谷 友明



原発反対を8人で訴えてきました

7月19日(日)大間で行われた原発反対現地集会に参加しました。集会場所は広くはなかったのですが、集会への参加者は約500人とものごい人数でございました。500人というところなにも多くは感じないかもしれませんが、大



雨の中、元気にススミンとデモ行進

間という本州の最北端という場所を考えたときにこの人数はもの凄いのではないかと思いました。函館市議等のお話を聞き



沿道を歩く人や車の方に戦争法案反対を訴えました

もし稼働し事故が起きてしまつたら海を越えて函館にも影響を及ぼすので、これは青森県だけの問題ではなく日本全体で真剣に考えていかなければならないのだと考えさせられました。

その後の約3kmのデモ行進では、大間原発反対を訴えながら歩いたのですが、家の窓から顔を出している人や家の外まで出てきて握手してくれる人などとても驚きました。原発の補助金

などで町が潤うため、地元住民は原発賛成の方が大部分だと思っていたのでこれはとても意外でした。これからも大間原発だけではなく原発すべてに対し反対と訴えていこうと思いました。

7月18日(土)、戦争法案NO！弘前デモ大集会がりんご広場にて行われました。悪天候ではありましたが250名以上の方が参加されており、子供連れや若い方々の参加が多い印象を受けました。

集会では、数名の方々が強行採決を阻止しようという熱い想いを演説された後、シユプレヒコールをしながらデモ行進を行いました。

大切な家族や友人を失う悲しみは決して繰り返してはいけませんので、今こそ一人一人が声をあげるべきです。

県連薬局活動交流集会

弘前調剤センター 薬剤師 木村 太郎

7月25日(土)弘前プリンスホテルで行われた薬局活動交流集会に参加しました。薬剤師と事務職員合わせて100名以上の参加が



ファルマの取り組みを発表する佐藤薬剤師



講師をした大川薬局長

の伝達」をテーマに現在の医療の問題点やこれからの目指すべき民医薬局薬剤師像などについて弘前調剤センター大川誠也薬局長と、「2014年度利用者アンケート結果報告」をテーマに窓口での支払い困難事例への遭遇をきっかけに行った患者様への保険料・医療費・

保険制度の認知度などに関するアンケート結果について弘前調剤センター佐藤武志薬剤師の2名が発表し好評を得ました。他事業所による発表も素晴らしく活発な意見交換も

『市民の健康まつり』に参加して

弘前調剤センター 主任補佐 阿保 香織

7月11日(土)〜12日(日)に毎年恒例となっております『市民の健康まつり』が弘前市総合保健センターにて開催され、私も参加しました。

『市民の健康まつり』とは、市民に健康作りの必要性を実感してもらうためのイベントです。

気分を味わってもらうため、子供用の白衣を用意しました。お子様より親御さんの方が我が子の姿に興奮していたようです。来てくださった皆様楽しんでいただけて良かったです。薬剤師としても、広く市民の皆様と触れ合う事ができ、貴重な体験となりました。



薬剤師会の皆さんと(左から2人目阿保主任補佐)

日本在宅薬学会学術大会

in 千葉

藤代薬局 薬剤師 西沢 光

7月19〜20日、台風11号の影響での悪天候をくぐり抜けた猛暑の中、千葉県幕張メッセで行われた第8回日本在宅薬学会学術大会に参加しました。テーマは「実践!薬剤師3・0ー理論を語る時代から現場で活躍する時代へー」です。

「3・0」とは何か。これは本大会理事長である狭間先生が定義した、薬剤師の在り方です。狭間先生自身、外科医でありながら薬局を経営している方で在宅業務に非常に理解がある先生です。

く感じました。現在ファルマで行われていることをそのまま活かしつつ、全国で行われていることも取り込んでいきたいです。

今年度より社外研修制度が始まり、初めての参加者として今回の学会に参加してきました。務のモチベーションを上げていくことが出来るいい機会なので、是非、皆さんにもこの制度を活用してほしいと思います。



参加した西沢薬剤師

あの頃のわたし

弘前調剤センター 薬剤師 須藤 雪絵

私には1つ違いの弟がいます。写真の右側が弟です。今は口喧嘩では全く勝てません。私が1歳で弟が赤ちゃんだった頃、突然現れた小さな人に興味津々で悪戯をしていたそうです。それはベビーベッドで寝ている弟を横の隙間から棒で突っついて遊ぶことです。私がいまにも突っつくので祖父がベッドの横の隙間を塞いでしまいました。するとこれで諦めるどころか、「横が駄目なら上がある!」と思いつき、今度は上からタオルやおもちゃを投げ込むようになりました。そのため顔やお腹に物を乗せられた弟は、いつももがいていたそうです。よく思いついたよなと今でも言われてしまいます。人で遊ぶんじゃない!と。

他には絵を描くのが楽しかった頃、母に弟の顔も描いてあげなさいと言われ、はい!と元気よく返事をした私。しばらくして様子を見に来た母が見たものは、油性マジックで顔に○や線を引かれた弟の顔でした。どうやら私は「弟の顔も描いてあげなさい」ということを「弟の顔にも描いてあげなさい」と聞き取ったようです。母にはあんたは聞き間違いやら色々やらかすんだからと言われていきます。今後も落ち着いて行動するよう気をつけようと日々思っています。



仲の良い(?) 弟と私

戦争法案反対行動

ファルマの各薬局では連日戦争法案反対行動をしています。その様子をご紹介します。



弘前調剤センター・本部では毎日朝と夕方に健生病院前で行動しています。写真右は8月6日の朝の行動ですが、通勤途中の健生病院田代院長(右端)も飛び入り参加してくれました!



藤代薬局では7/26「国会包囲緊急行動」に参加した藤代健生病院の坪井さん(右端)と一緒に藤代薬局前で行動しました



浪岡薬局では緊急行動として7月30日に反対行動を津軽医院の皆さんと一緒にしました



黒石薬局では黒石診療所の皆さんと共に反対行動をしています



一ツ谷薬局では五所川原診療所と一緒に「火曜日行動」をしています。8月18日からはモモレンジャーも登場し、沿道の人や車の方にアピールしています。

健康チェック

6月24日(水)ファルマの班会にて『健康チェック』を行いました。今回は血管年齢測定と食事バランスチェックをしました。自分の年齢よりも高い年齢が出た職員が多くいました?!



血管年齢何歳ですか???

出張出前講座

7月10日(金)津軽保健和徳支部へ出張出前講座に高松常務が講師をしました。テーマは「薬の値段はなぜ高い」でした。利用者委員会のアンケート調査結果も含め、患者様の生活状況もお話しました。



講師をする高松常務(右)

青森デモ! 戦争法案 反対集会in青森市

7月26日(日)青森市青い森公園で集合し、柳町通り新町通りとデモ行進がありました。ファルマからは本部樋口さんが参加し、様々な団体の若い方と共に戦争法案反対の声をあげてきました。



新町通りを歩く樋口さん(左から4人目)

青森大学薬学部個別企業説明会

7月19日(日)青森大学の個別企業説明会に高松常務と大川薬局長が参加しました。ファルマのブースには実務実習で昨年度ファルマにいらっした中村さんがお友達と来て話を聞いてくれました。



高松常務(右)からファルマの会社説明をしました

高校生薬剤師1日体験会

弘前調剤センターとファルマ一ツ谷薬局で県連高校生薬剤師1日体験会がありました。そのうち一ツ谷薬局には7月30日(金)2名の高校生が来て、調剤業務の体験をしました。



津川薬局長(左)の説明を真剣に聞く高校生のお二人